

編 集 後 記

朝起きたら寝違えていた。少し動くとき激痛が走る。だから、姿勢を変えないように慎重に書いている。今年は年初より痛風で1ヶ月苦しんだが、今度はいきなり足先から頸まで駆け上がってきた。どうも10年遅れた厄年だ。

痛風もかなり痛いのだが、寝違えの痛みがこれほどのものとは知らなかった。他人事だと嘲笑が相応な印象があるが、そんなものではない。痛風でも最初の発作の痛みがひどかったが、原因がわからない未知の経験ということがそれを増幅させるのだろう。

人間学部は今年の4月をもって総合社会学部へと改組する。したがって、今年度をもって人間学部の名称を冠する発行は最後となる。そして次年度は総合社会学にふさわしい紀要が望まれるところである。総合社会学という未知の領域を切り開いていく為には、それなりの痛みが伴うであろう。紀要がその中で重要な役割を果たし、緩和剤となることを願うところである。

(Y 生)

執 筆 者 紹 介 (掲載順)

山 本 明 歩	京都文教大学人間学部・文化人類学科・准教授
依 田 博	京都文教大学人間学部・現代社会学科・教 授
橋 本 和 也	京都文教大学人間学部・文化人類学科・教 授

2011年度編集委員会

*小 林 康 正 古 川 まゆみ
永 澤 哲 平 塚 力

*編集委員長

京都文教大学 人間学部研究報告 第十四集

平成24年3月21日 印刷
平成24年3月31日 発行

発 行 京 都 文 教 大 学
京都府宇治市榎島町千足80
〒611-0041 電話 (0774)25-2400

印 刷 (株) 同 朋 舎
京都市下京区中堂寺鍵田町2
〒600-8805 電話 (075)361-9121